

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	市民文化スポーツ局 スポーツ部 スポーツ振興課
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

1 指定概要

施設概要	名称	文化記念プール等3スポーツ施設	施設類型	目的・機能
	所在地	小倉南区田原五丁目1番2号等	I	— ②
	設置目的	スポーツの普及及び振興を図り、市民の心身の健全な発達及び明るく豊かな市民生活の形成に資する。		
利用料金制	非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制			
	インセンティブ制	有・無	ペナルティ制	有・無
指定管理者	名称	九州林産株式会社		
	所在地	福岡市南区野間三丁目7番20号		
指定管理業務の内容	1 管理運営に関する業務 ・受付、使用許可に関する業務（利用調整、許可に係る業務） ・清掃、警備、建物等保守点検業務 2 その他管理運営業務 ・事業及び収支計画書、各種報告書の提出 ・関係機関との連絡調整 ・地域や類似施設との連携に関する業務 3 利用促進に関する業務 ・イベントや広報活動等による利用促進など 4 自主事業 ・市民のスポーツ振興に資する事業（スポーツ教室等）等の実施など			
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日			

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント					
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み					
(1) 施設の設置目的の達成					
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。					
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取り組みがなされ、その効果があったか。					
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。					
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。					
[所見]					
【利用人員】					
区分	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	前年度比較
管理棟会議室	47,082	13,310	14,973	23,313	8,340
プール	18,032	12,903	10,740	20,607	9,867
運動場	18,600	13,379	13,061	18,797	5,736
庭球場	25,129	20,220	17,534	23,136	5,622
計	109,270	59,812	56,308	85,873	29,565
目標値	133,000	134,000	135,000	136,000	
要求水準	133,000	133,000	133,000	133,000	
※ R4 ・・・評価対象年度					
【新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休館日数】					
＜屋外プール＞ R2 年度： 0 日					
R3 年度： 23 日（新型コロナ緊急事態宣言）					
＜庭球場＞ R2 年度： 39 日（新型コロナ緊急事態宣言）					
R3 年度： 93 日（ ” ” ）					
＜運動場＞ R2 年度： 39 日（新型コロナ緊急事態宣言）					
R3 年度： 93 日（ ” ” ）					
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数は 86 千人で、対前年比 153%、+30 千人となった。 ・新型コロナに伴う臨時休業等がなかったこと、7～8月の「おでかけ応援プレミアムサマー」利用料無料の実施が主たる要因と考える。 ・SNS（インスタ、ツイッター、ブログ）やポスター掲示、自社情報誌の発行等により適宜情報を発信し、併せて「スローエアロビック教室」や「さわやか健康教室」等のイベントを開催し、利用者確保に努めた。 					
(2) 利用者の満足度					
① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。					
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。					

- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

【所見】

【施設利用について】

満足度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
目標値	85.0%以上	85.0%以上	85.0%以上	85.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	94.7% (30.6%・64.1%)	95.7% (44.8%・50.9%)	94.7% (45.5%・49.0%)	94.1% (42.4%・51.7%)

【職員対応について】

満足度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
目標値	85.0%以上	85.0%以上	85.0%以上	85.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	96.8% (41.2%・55.6%)	95.1% (49.1%・46.0%)	98.5% (59.4%・39.1%)	98.3% (48.3%・50.2%)

※ ・・・評価対象年度

- ・施設利用について、「とても良かった・良かった」の評価が94.1%で、職員対応について、「とても良かった・良かった」が98.3%となり高い満足度を得ている。
- ・アンケートや意見箱の設置により、利用者の意見やニーズを汲み取り、迅速に対応してきたこと、また他施設の事例を参考に改善に努めてきたことが要因と考える。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

【所見】

【維持管理経費】

区分	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	前年度比較
委託料	7,794,044	6,028,000	5,235,692	4,459,400	▲776,292
修繕費	3,649,132	4,938,178	5,198,160	3,543,560	▲1,654,600
光熱水費	7,963,034	6,189,064	6,103,750	6,955,577	851,827
人件費	23,292,369	29,134,156	33,363,861	33,378,153	14,292
その他経費	7,028,596	6,839,091	6,640,447	6,463,427	▲177,020
合計	49,727,175	53,128,489	56,541,910	54,800,117	▲1,741,793
予算	51,012,016	54,851,000	56,549,000	54,851,000	

※ . . . 評価対象年度

- ・維持管理経費は前年度比で1,742千円の減少となった。
- ・プールの水質管理や除草業務、軽微な修繕工事は自社で行い、再委託する場合には関連会社に発注する等することで経費を削減を図った。

(2) 収入の増加

- ① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

【施設使用料収入】

区分	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	前年度比較
文化記念庭球場	3,774,150	3,608,264	2,941,700	3,153,170	211,470
文化記念運動場	482,950	463,450	418,600	535,600	117,000
文化記念プール (管理棟含む)	4,262,045	3,514,889	2,850,586	2,210,965	▲639,921
① 実収入計	8,519,145	7,586,603	6,210,886	5,899,735	▲311,151

※ . . . 評価対象年度

- ・使用料収入は前年度比で311千円の減少となった。
- ・7月1日～8月31日まで市民が無料で施設を利用できる「おでかけ応援プレミアムサマー」の実施が影響したものとする。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取り組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

[所見]

- ・指定管理業務の豊富な経験を活かし、責任者・副責任者には経験豊富な職員を配置している。
- ・他都市を含め全指定管理施設で合同研修会を開催している。またプール開場前にはスタッフ全員に対し消防職員による救命講習及びAED講習、受付員及び監視員には個別研修等を行い、スタッフの資質向上に努めている。
- ・公園内の清掃を地域ボランティアと協力して行っており、その他にも年2回の地域清掃に参加している。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。

⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。

⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

[所見]

- ・個人情報を取得するにあたり、「北九州市個人情報保護条例」に基づき取り扱っている。
- ・車いすの無料貸し出しや授乳室の開放、「赤ちゃんの駅」への登録等、より多くの方が施設を利用できるように努めている。
- ・消防職員による普通救命講習会（AED講習含む）、年2回の消防訓練、また会社全体での「品質・安全パトロール」と「経営層パトロール」を実施している。

【総合評価】

[所見]

- ・臨時休館や収容人数の制限等なかったことが要因で、利用人員は前年度に比べ30千人を上回った
- ・アンケートや意見箱の設置により、利用者の意見やニーズを汲み取り、迅速に対応できたため、利用者から高い評価を得た。
- ・維持管理経費は、前年度比で1,742千円減少した。
- ・SNSなどの施設使用料増加に向けた取り組みを顕著に行っている。
- ・全指定管理施設と合同で研修会を開催し、職員の資質向上に努めている。

[今後の対応]

- ・今後もスタッフの能力向上・育成に熱心に取り組み、利用者に満足される施設運営に努めていきたい。

